

一般社団法人 四万十農産

組織形態：集落活動センター

取組範囲：四万十町仁井田地区

法人設立：平成 29 年 4 月 27 日

所在地：高岡郡四万十町影野 873-2

資本金等：500 万円（5 集落 各 100 万円）

役員：理事 10 名、監事 2 名

従業員：正職員 3 名



定植作業

事業内容

- ・作業受託：水稻育苗 3ha、耕耘 1.5ha、米乾燥調製 9ha
- ・農業生産：水稻 17ha、大豆 4.5ha、栗/柚子 4.3ha

資本装備

- ・施設等：水稻乾燥調製施設、一次加工処理作業場
- ・機械等：水稻乾燥調製機械、トラクター、ハロー、コンバイン、野菜移植機、管理機
動力噴霧機、野菜移植機、野菜作業車、馬鈴薯磨機、積載車

活用した主な補助金等

- ・国事業：農の雇用事業
- ・県事業：複合経営拠点支援事業



稲刈作業

設立の経緯

四万十町の窪川地域は、古くから豊かな水と恵まれた田園が広がる水稻やショウガなどの農業が基幹産業であり、美しい景観や安定した農村経営を保つためには、これからも農業生産活動を維持していく必要がある。



ネギの出荷作業

しかし、近年の中山間地農業を取り巻く環境は厳しく、高齢化や担い手不足による農業生産力の低下や耕作放棄地の増加等、急速に農村環境は悪化し続けている。

こうした状況の中、平成 29 年 4 月に影野小学校区の 4 集落（床鍋・影野・魚の川・奥呉地）の集落営農組織が将来像を見据えて協議を重ねる中で、持続可能な地域基盤を創っていくために、（一社）四万十農産が設立された。



四万十農産役員会

事業戦略

「(株)サンビレッジ四万十との連携」による広域地域営農の推進、「各品目のブランディング販路開拓」「栗事業」「農作業の効率化」による組織の売上向上、

「圃場の条件整備」「農地の有効活用」「地域人材の育成」「雇用」による組織体制の強化に取り組み、地域の農業を支えることを目指す。

取り組みの特徴

広域組織の四万十農産を核として、個人農家（兼業農家）も集落営農組織も農業が続けられる体制の仕組を地域ぐるみで推進する。

農業を中心とする基幹産業を推進し、自治会組織や「集落活動センター仁井田のりん家」と協調しながら、地域住民や他産業との連携のもとに、安心して生活できる持続可能な影野地域を目指す。

令和 5 年 6 月現在